岩盤ボーリング柱状図

調　　査　　名　畠敷地区　急傾斜地崩壊対策事業に伴う業務委託（交付金）

事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　その他　構造物基礎

ボーリング名	R2B-1	調査位置	広島県三次市畠敷町	北緯	34° 48′ 47.1164″
発注機関	広島県北部建設事務所	調査期間	令和2年10月15日～ 令和2年10月16日	東経	132° 52′ 18.7769″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 162.74m	角度	180°（上）～ 90° ～ 0°（下）	方向	北 0°、90°東、180°南、270°西
総削孔長	5.00m	地盤勾配	水平 0°、鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦地下工機 D1型
				エンジン	ヤンマーTF120M
				ポンプ	東邦製BG-3

標尺（m）	標高（m）	深度（m）	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率（%）／最大コア長（cm）／RQD（%）	記事	孔内水位／測定月日
	161.99	0.75	G	礫混じり砂	茶							(100)	表土。木の根混じる。細～中砂主体。2～20mmの角礫混入。最大礫径50mm。	
1			SG	粘土混じり礫質砂	黒茶							(100)	崖錐堆積物。細～中砂主体。粘土分を全体に混入する。礫は2～30mmの角礫主体。GL-0.75～1.00m間，硬質な玉石混入。GL-2.70mまで植物根を混入。	
2												(100)		
3	159.74	3.00	M	安山岩	淡～青灰	w3	h2	C	IV	b	CL	0[0](100)	基盤岩。主に岩片状コアとして採取される。全体に亀裂に富む。割れ目に沿って風化が進行するが，岩片は硬質である。亀裂の方向は水平～垂直まで様々な方向に発達する。ハンマー打撃で鈍い金属音を発する。	10/15 4.30
4												0[0](100)		
5	157.74	5.00												
6														
7														
8														
9														
10														

標準貫入試験

N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
8	1.15	8		
	1.45	300		
9	2.15	9		
	2.45	300		
50以上	3.00	50	30	
	3.03	30		
50以上	4.00	貫入不能		
50以上	5.00	貫入不能		

原位置試験　室内試験

削孔状況

削孔月日	削孔速度（cm/h）	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧（MPa）	回転数（rpm）	送水圧（MPa）	削孔水・送水量（L/min）	排水量（L/min）
10/14	60	66／ケーシング	S／MC	100	80	0	W2 2	2
10/15	40	66	D／DC	175	230	0	W2 2	2